

第5学年 学級活動指導案

日 時 平成18年10月13日(金) 5校時
児童 男20名 女16名 計36名
指導者 白 沢 智 雅 子

1 題材名「全校のためにできること」

2 題材について

(1) 題材設定の理由

学級活動の内容(1)においては、よりよい学級生活の実現を目指している。特に、学級生活の充実と向上に関する諸問題を児童自身が見だし、解決していく活動が主となるが、高学年においては、学校生活にかかわる問題を取り上げること考えられる。

5年生という学年は、高学年の仲間入りをし、学校行事や委員会活動などで6年生と共に学校を引っ張っていく学年であり、低学年のお世話をしたいと思う時期である。しかし、実際、全校をリードするのは、6年生であり、5年生独自が全校のために何か行動を起こすといった場面は少ない。そこで、今回は、「全校のためにできること」と題材を設定し、学級の団結力や高学年としての意識を高めたいと考えた。

また、この題材は、4月に話し合っただけで決めた学級目標の一つである「どの学年からもとよりにされる5年生になろう」の実現に向けて、運動会や委員会活動などで培ってきた力を、さらに活かされる機会でもある。しかし、この目標達成をめざす時、自分たちが「どの学年からもとよりにされているのか」実感することが難しい。大きな行事や全校で取り組む集会でもない限り、日々の自分たちの行動は、高学年としてふさわしいのかといった日常生活の反省だけに留まりがちである。

したがって、「どの学年からもとよりにされる」には、「全校のためになることを自ら考え行動する」ことが大切である。このことに児童が気づき、5年生独自の考えで全校のためになる活動を行った時、他の学年からの信頼を感じることができ、また、来年6年生となる自覚もより高まるのではないかと考え、この題材を設定した。

(2) 児童について

学級の児童は、素直で明るい児童が多い。1学期の係活動や委員会活動の自己評価から、任された事は、責任を持ってやろうとする意識が高まっていることが分かる。しかし、自分たちから進んで物事に取り組んだり、自主的な活動を企画・実行したりする力はまだ足りない。

5年生になってからの話し合い活動では、「積極的に発言するにはどうすればよいか」、「運動会を成功させよう」、「だれとでも仲良くなれる班替え」、「ふるさと交流会のめあてを決めよう」などの議題で話し合い活動を行ってきた。このような話し合い活動を通して、自分の考えに理由を付けて発言したり、よりよい意見に収束させようとしたりする意識は高まっている。しかし、一人一人の考えを十分に理解したり、一つの考えを深め合ったりするまでは至っていない。

また、4月当初に話し合っただけで決めた学級目標の一つである「どの学年からもとよりにされる5年生になろう」については、1学期の行事や委員会活動だけでなく、日々の行動をふり返り、達成できているかどうかを確認し合ってきている。しかし、この目標の実現に向けて具体的な学級独自の取り組みは、まだ実施していない。

(3) 指導にあたって

この題材は、4月に決めた学級目標「どの学年からもとよりにされる5年生になろう」の実現に向けて具体的に取り組むものである。

事前活動では、この学級目標に関して、1学期の自分たちの日常生活はどうであったかふり返り、頑張った点ともっと努力する点とに分けて話し合い、学級全体で共通理解したいと考える。その事を基にして、問題意識を高め、基本的な生活習慣だけでなく学校全体を見渡せる目を養わせたい。そのためには、日常生活をふり返る表を学級執行部と作成して意識づけを図り、個々の意識を高めたい。また、自分たちが、自主的に他の学年のためにしている事にどんなことがあるか気付かせ、議題へと発展させたい。

本時は、その学級目標の達成を目指して、学級が協力して全校のためになる取り組みを考える時間である。話し合い活動がスムーズにいくために、事前に意見をいくつか絞って、自分の考えの長所も話し合いカードに書かせておきたい。また、他の意見も掲示して、それに対する自分の考えも深めさせておきたい。それが比べ合いの際に生かされ、考えを交流し練り合えるようにしたい。学び合いの途中で、それまでの話し合いによって自分の考えが変容したか、深化したか確かめるために書く活動を取り入れたい。それを生かし、「全校のためになる活動」に最も適している活動についてさらに話し合いを高めたい。そして、考えが一つに絞られない場合には、どのようにして決定するかも児童の考えに任せ、自分たちで決めたという意識を持たせたい。

事後活動では、児童一人一人が自分の役割を自覚し、仲良く協力して取り組むことが必要であることを実感させたい。また、全校のことを考えられることが高学年であり、他学年のためになる活動の喜びを味わえたい。

3 指導の目標

全校のためになる活動を自分たちで話し合い実行することで、学級目標でもある「どの学年からもたよりにされる5年生」としての行動の達成感や喜びを味わい、高学年としての自覚を高めることができる。

4 指導計画

	活動内容	期 日	参加児童	指導上の留意点
自 事 前 ら 活 動 考 え	1 学級目標の達成状況 (自分たちは、どこまで達成できているのか)	8月22日 朝の会	全員	<ul style="list-style-type: none"> 学級目標の「どの学年からもたよりにされる5年生」を目指して頑張ろうとする意欲づけを図る。 学級目標の達成度についてアンケート調査(自己・全体)を行い、どこが課題なのかを共通理解し改善できるようにする。(自己評価カード) 2学期当初から重点的に取り組んできた「どの学年からもたよりにされる5年生」の取り組みから発展して、みんなで全校のためにできることはないかに気付けるようにさせる。 学級目標の実現を目指して自分たちが行ってきたことを掲示して、全校のためになる活動の意欲がわくような提案理由を準備させる。 自分の考えを紹介できるだけでなく多面的に考えられるようにさせる。 学び合いで話し合いを高めるための議長指導を行う。
	・問題点をみんなで確認し、今後の自分たちの行動を評価する。(自己評価や学級執行部の全体評価)	8月25日 学活 日常	全員	
	2 問題の発見 ・学級目標に関連した議題に気づく。	9月 日常	全員	
	3 議題の選定 ・議題ポストを開け、議題を決定し、他の意見の取扱いも決める。 ・「全校のためになる活動」について話し合うことに決める。 ・議題と提案理由と条件について吟味する。	10月2日 放課後	学級執行部	
	4 議題の決定 ・学級執行部と提案者から、議題と提案理由について説明する。	10月4日 朝の会	学級執行部 提案者	
	5 話し合いカードの記入 ・考えを出し合い、その中から各自が考えを持つ。	10月5日 帰りの会	全員 (個々)	
6 話し合いの計画 ・計画委員会で話し合いの進め方を相談する。	10月6日 放課後	計画委員会		
伝 え 合 い	7 話し合い ・議題と提案理由の確認 「全校のために力を合わせてできる活動の内容を決めよう」	10月 13日 本時	全員	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う内容と条件を提示する 少数意見の良さにも気づけるようにさせる。 収束する時のよりどころをはっきりさせておく。 話し合いによって自分の考えがどう変容したか、深化したかを話し合いカードに書く時間を設定する。
高 め 合 い	8 決まったことを計画・準備・実行する。 ・計画 ・準備 ・実行 他学年からの評価	10月中	学級執行部 計画委員会 全員	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを計画する人・日数などは、事前に相談しておく。 準備段階で一人一役となるように決める。 実行後、他学年からの評価がえられるようにする。 活動の感想を話し合いカードに書き、みんなで総括して学級の宝となれるようにする。
	9 活動全体をふり返り、次の活動への意欲を持つ。	10月 30日	全員 (個々)	

5 評価規準

【関心・意欲・態度】

「全校のためになる活動」を考えて話し合いに参加し、決まったことを進んで実行したり、友達と協力したりして高学年としての意識を高めようとする。

【思考・判断】

提案理由や条件に合っている活動を考えて発言したり、友達の考えのよさに気づいたりして、よりよい活動は、どれかを判断することができる。

話し合いの結果を受けて、自分がどのように取り組めばねらいが達成できるか考えることができる。

【技能・表現】

自分の考えの理由を明確にして話したり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。

【知識・理解】

「全校のためになる活動」の趣旨を理解し、話し合いに参加したり、話し合いを踏まえた取り組みの大切さが分かっている。

6 本時の指導

(1) ねらい

全校のためになる活動を考えて発言したり、友達の考えを聞き合ったりして、「全校のためになる活動」には、どんな活動が適しているかを定めることができる。

(2) 展開

	活動の流れ	児童の活動	支援(・)と評価()
つかむ	1 はじめの言葉 2 役割紹介 3 議題の確認	・副議長が開会する。 ・司会グループが自己紹介する。	・はっきり話せるようにする。 ・議題・提案理由・内容・条件めあてなどの紙板書を準備する。
	4 提案理由の説明	提案理由 (自分たちは、これまでどの学年からもたよりにされる5年生を目指してきた。でも、まだ他の学年のためにみんなで何か活動したことはないそこで学級が協力して全校のためにはできることはないかと考え提案する)	・提案理由の説明では、これまでの学級目標に対する取り組みの経過が分かるようにする。全校のためになる活動に意欲が持てるようにする。
5分	5 話し合うこと・条件	全校のためになる活動を考えよう 条件：学級のみんなが協力してできるもの ：日数(1週間) ：時間(朝・休み時間・放課後)	・いつ・どこで・だれが行うかについては、再確認し、話し合う中身が焦点化できるようにする。
	6 話し合いのめあて	・議長が話し合いのめあてを確認する	めあて、議題、内容についてつかむことができたか。 【行動観察】
話し合う	7 話し合い ・出し合い	・事前に確認していたものを出し合う。 (例)・校舎内のゴミ拾い ・昇降口の掃除 ・廊下の掃除 ・全校ゲームの企画運営 ・休み時間に一緒に遊ぶ ・紙芝居や本を読んであげる	・時間短縮のために理由は、付け加えない。 ・紙板書を準備して考えを貼り出す。
	・比べ合い	・話し合いカードを活用して自分の意見を理由と共に話す。 ・反対意見を理由と共に話す。 ・分からないことは質問する。	・自分の考えのよさを理由の中に交えて話すことができるようにする。 ・互いの意見を聞き合い自分と同じか比べ合わせる。

<p>話し合う</p> <p>30分</p>	<p>・学び合い</p> <p>・まとめ合い</p> <p>8 決まったことの確認</p>	<p>・意見の多く出ているものについて詳しく話し合う。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内のごみ拾いに賛成です。全校のみんなが気持ちよく過ごせるからです。 ・どちらも掃除なので昇降口と廊下掃除と合体させてもいいのではないかと思います。 <p>・これまでの話し合いで自分の考えがどのように変わったかカードに書き再度話し合う。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞いて今まで一緒に遊ぶだけだったけど全校のためになる活動に廊下掃除がいいに変わりました。 ・やっぱり全校のみんなを楽しませたいから、全校ゲームがいいと思います。 <p>・できるだけ話し合いによってまとめる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校ゲームについての賛成意見が多かったのがよかったのでそれがよいと思います。 ・掃除のよさが分かったので、廊下掃除にゆずります。 <p>・ノート書記が決まったことを知らせる。</p>	<p>・少数意見も大切にしながら進行させる。</p> <p>・ひとつひとつの意見を取り上げて、それぞれの意見のよさや問題点について詳しく話し合わせる。</p> <p>・現時点の自分の考えを書く時間を設定する。</p> <p>・自分の考えが変容したか深化したかはっきり述べるができるようにする。</p> <p>・最も提案理由や条件に沿っている考えはどれかを考えることができるようにする。</p> <p>・できるだけ多数決にたよらないで、みんなが納得できるものに収束していけるようにする。</p> <p>自分の考えを進んで伝え合いみんなの意見を聞いて話し合いに参加できたか。【発表・行動観察・話し合いカード】</p>
<p>ふりかえる</p> <p>10分</p>	<p>9 ふりかえり</p> <p>10 反省と感想発表</p> <p>11 先生から</p> <p>12 終わりの言葉</p>	<p>・話し合いカードに記入する。</p> <p>・めあての達成度を確認し、感想を発表する。</p> <p>・先生の話聞く</p> <p>・副議長が閉会する。</p>	<p>・感想に記述する観点(話し合いについての自己評価・今後の意欲)を明らかにする。</p> <p>・話し合いの内容、態度等を評価し、実践活動への意欲を促す。めあてが達成できたか。話し合いの感想や今後の活動への意欲をもつことができたか。【発表・話し合いカード】</p>

(3) 板書計画

<p>めあて どんな活動が本当に全校のためになる活動か考えながら話し合おう</p>	<p>内容・条件 日数・・・一週間 時間(朝・休み時間 放課後)のどれか</p>	<p>議題 全校のために力を合わせてできる活動の内容を決めよう</p>	<p>第 回 学級会</p>
---	--	---	----------------

